**第68回日本病理学会秋期特別総会  
令和4/2022年度　症例研究賞演説（B演説）応募抄録**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 会員番号 |  |
| 応募者氏名 |  |
| 所属施設 |  | 職名 |  |
| 所属住所 | 〒 | | |
| 電　話: 　　　　　　Fax:  メール: | | |
| 演題名 |  | | |
| 選考用抄録 (900字以内)記述の中で論文報告しているものについては、業績一覧の番号を附すこと | | | |

**令和4/2022年度　症例研究賞(B演説)応募者履歴書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　西暦　　　年　月　日現在

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな） |  | 性　別 | 男　　女 |
| 応募者氏名 |  |
| 生年月日 | 西暦　　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日　　（　　　　　才） | | |
| 本学会での  受賞歴 |  | | |
| 学位  および  病理関係資格等 |  | | |
| 学歴(大学以降)  および  職歴 |  | | |

症例研究賞演説（B演説）選考用関連論文一覧

10編以内。以下の記載例に倣うこと。

著者は省略せず全員を記載すること。応募者に下線を付すこと。

別刷をつけた業績のあたまに「〇」印をつけること。

記載例:

論文

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Expression of ZRRF1 and its biological role in invasive ductal carcinoma of the breast. Pathol Int 50; 500-505, 2018

2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 浸潤性乳管癌の間質形成と臨床的特性. 診断病理, 50; 175-180, 2017

著書

. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. Histopathology. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 2013

2. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳癌の病理像と臨床像. 組織病理 (山田三郎, 伊藤四郎・編集). 病理書院, p.175-180, 2015

※代表的な自著論文3編以内の別刷り